 보건복지부 질병관리본부		報道参考資料	
配布日	2016.8.24./ (計 3 枚)	担当部署	感染症管理課 感染症監視課 水因性疾患課
課長/ 担当者	チョ・ウニ/ イヒョンミン	電話	043-719-7120/7116
	イドンハン/ パクスクギョン		043-719-7160/7165
	クァク・ヒョソン/ ホンサヒョン		043-719-8111/8115

### 国内コレラ患者発生による疫学調査経過報告

- ◇旅行同伴家族、症状発生なく、大便検査上コレラ菌陰性
- ◇隔離前共に入院した患者 1 人大便検査結果陰性
- ◇患者診療した医療スタッフ 18 人および隔離前共に入院した患者 2 名検査進行中

□疾病管理本部（本部長 チョン・キソク）は国内で発生したと推定されるコレラに対する感染経路確認のための疫学調査中間結果、

○患者(男性、59 才)は▲8 月 7 日慶尚南道（キョンサンナムド）、巨済（コジェ）で昼食としてカンジャンケジャン（大使館注：生カニの醤油漬け）とヤンニョムケジャン（大使館注：生カニの唐辛子漬け）、夕食としてアワビの刺身とスズキの刺身を食べ、▲8 月 8 日には統営（トンヨン）で昼食としてスズキの刺身を摂取し、▲8 月 9 日 21 時 30 分頃から一日 10 回以上の下痢症状が始まり、▲8 月 11 日光州（クァンジュ）広域市所在「未来へ 21 病院」に入院して診療を受け、▲8 月 17 日から症状が現れず、▲8 月 19 日に退院した。

○接触者調査結果、共に旅行した家族 3 人(夫人、息子、娘)は外食時海産物を一緒に食べたが、現在まで症状が現れず、今日（24 日）家族全員大便検査上コレラ菌が確認されておらず、隔離入院前に同じ入院室にいた患者 1 人からもコレラ菌は確認されなかった。また、患者を診療した医療スタッフ 18 人と隔離入院前同じ入院室にいた患者 2 人に対しては現在のコレラ菌検査を進めており、接触者の中に調理従事者はないと確認された。

□患者から分離されたコレラ菌は血清学的に‘O1’型であり、毒素遺伝子を保有しており、生物型は‘El Tor’型と確認された。また、遺伝子指紋分析(PFGE)結果、現在まで国内患者で報告された遺伝型とは一致しなかった。(添付参照)

□患者が訪問した食堂と環境に対する調査は、

○食堂従事者に対するコレラ菌確認検査を実施し、販売中の魚等食材料と刃物、まないた等料理道具に対してもコレラ菌等食中毒誘発病原体に対する検査を実施中であり、食材料に対する流通経路および原産地追跡調査も同時に遂行している。

○そして、沿岸海水においてコレラ菌検出のための検査も現在進行している。

□保健当局は患者が訪問した巨済（コジェ）と統営（トンヨン）所在食堂の地域だけでなく、全国保健所を通じて下痢患者モニタリングを強化している。

○また、該当地域医療機関に下痢患者にコレラ検査を含めるよう措置した。

#### ◀ コレラ予防守則 ▶

- ・(食堂)安全な飲料水を提供する。
- ・汚染された食物摂取禁止、水と食物は徹底的に沸かしたり、煮た後摂取する。
- ・徹底した個人衛生管理で食物を取り扱う前と排便の後に 30 秒以上手洗うこと。

<添付>コレラ試験室結果

添付	コレラ試験室結果				
区分	生化学	血清型	毒素遺伝子	生物型	PFGE 類型
臨床	<i>V. cholerae</i>	O1 <i>Ogawa</i>	ctx 陽性	El Tor	<b>VCON11.083</b>

○毒素遺伝子(ctx)確認実験結果



**Lane**

M 100bp ladder

1~3 患者

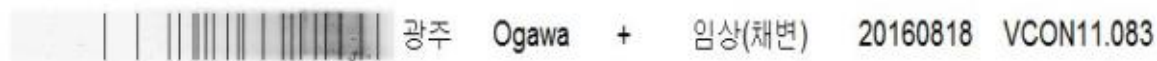
4 - control

5 + control

※ lane 1~3 は同じ検体である

○ PFGE 実験結果(制限酵素 NotI 使用)

**PFGE-NotI**



光州 Ogawa + 臨床 (採便) 20160818 VCON11.083

掲載 URL :

[http://www.mohw.go.kr/front\\_new/al/sal0301vw.jsp?PAR\\_MENU\\_ID=04&MENU\\_ID=0403&page=1&CNT\\_SEQ=333970](http://www.mohw.go.kr/front_new/al/sal0301vw.jsp?PAR_MENU_ID=04&MENU_ID=0403&page=1&CNT_SEQ=333970)